

投稿をお待ちしています

◆投稿の決まり

【お便り・エッセー】

郵便またはEメールで500字程度

【短歌・俳句・川柳・絵手紙】

短歌・俳句・川柳の場合は、はがきまたはEメールにジャンルを明記

【写真】

簡単な説明と撮影日、場所を

▼記入事項

郵便番号、住所、氏名、年齢

▼宛先

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-2-3

宮城県社会福祉協議会

「いきいきライフみやぎ」係

Eメール g055@miyagi-sfk.net

▼注意点

原稿はお返ししません。添削することがあります

二重投稿はご遠慮ください。お便り・エッセーには、年齢を明記。秀逸作品には薄謝を進呈します

2013秋号締め切りは
7月31日(水)です

短歌

冬あけて吹く風強く黄砂舞ふ
仙台砂漠を思ひ出したり

仙台市太白区 芳野 京子

雑然とせし庭先のヒヤシンス
ピンクの小花で凜と咲きおり

仙台市泉区 山辺 つよし

残波岬の海おぎろなく広こりて
空は明るく春の雲浮く

仙台市太白区 勝 美彰

昇り行く朝日に向かい散歩する
我と愛犬田の道を行く

大和町 大友 正雄

俳句

春めきて老いの心もゆるみけり

名取市 工藤 勝也

春暁の屋根に雀の恋の歌

仙台市太白区 矢崎 卓

そよ風の路地の青さや入学児

美里町 遠藤 昌子

連れ合ひと昔語りや桜餅

美里町 後藤 美智子

菜園の天地返しや春立ちぬ

加美町 板垣 綱紀

川柳

リモコンは肌身はなさず夢の中

大和町 山口 恵美子

週末と聞くや心臓動悸する

仙台市若林区 関 和幸

ピカピカと春の日差しを一年生

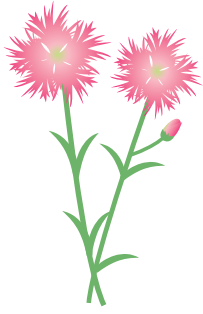
仙台市青葉区 若生 和子

海行かば口ずさむ今海は凧

仙台市泉区 矢口 瑛香

時折は複眼で浮世眺めてる

大崎市鹿島台 小関 昌子



いきいきトライ



三山タエ子さん (69)

笑顔と張りのある声が魅力的な、仙台文学館の喫茶店「杜の小径」の名物店長。1999年から現職。仙台市泉区在住。「杜の小径」の営業時間は10:00～ラストオーダー15:00(土・日曜、祝日はラストオーダー16:00)、休業日は月曜(祝日の場合は営業)、祝日の翌日、第4木曜。問/TEL022-271-3020(仙台市青葉区北根2-7-1 仙台文学館2階)

仙台文学館の喫茶店で、文学館の企画展をテーマにした特別ランチを提供しています。15年ほど前にこの店にやって来てから、ずっとメニューづくりを担当してきました。

松本清張や藤沢周平、高村光太郎・智恵子、正岡子規…、手掛けたメニューは本当にさまざま。次の企画展が決まるともつドキドキします。作者の人となりの研究に始まり、できるだけ出身地などゆかりの地を訪ねます。本を読み、作者が好んだ食べ物や出身地に関わりのある食材、作品中に出てきた料理などにヒントを得て、取り入れられるか考えます。

材料はどこから仕入れようか、1000円という価格内に納めるにはどうしようか…。最後はやはり、お客さんの好みに合っているかどうか。料理は思いやり。それを「愛のひとつまみを入れる」と言って、店の

作家の人となりをメニューに昇華

スタッフにも心掛けるよう伝えています。

新作を心待ちにしてくださるお客さまがいらつしやるので、メニューづくりには悩むこともありますが、それもひとつくめて楽しんでいきます。

ことしいっぱい慶長遣欧使節出帆400年の展示をテーマにしたランチ「常長の旅の味」を提供します。季節ごとに内容を変え、夏メニューはイタリア・ローマにかけてパスタを主役にする予定。

ちなみに、一番最初に作った特別メニューが、石川啄木の企画展をテーマにした「はつと」でした。これは今も提供されていて、人気なんですよ。

仕事以外では、最近、学生時代に一緒に音楽活動をした仲間たちと再びマンドリングループを立ち上げました。7月に演奏会を開く予定です、目下練習中です。それが元気の素ですね。